

第12回記念祭スケジュール

10月20日(日)	体 育 祭
21日(月)	聖ヴィアトール祝日ミサ
30日(水)	文化祭 第1日
(午前)	開 会 式
	謡 曲
	演 剧 1、2、
	合唱コンクール(中学)
	ママさんコーラス
(昼食)	展 示 会
(午後)	演 剧 3、4
	合唱コンクール(高校)
	職 員 合 唱
31日(木)	文化祭 第2日
(午前)	演 剧 5、6
	オーケストラ
(昼食)	展 示 会
	E・S・S 英語劇
	グ リ 一
	芸 能
	閉 会 式
	ファイア(芸能)

記念祭近く

体育祭は20日、文化祭は30,31日に

のは高一の競技の得点方法、及び
仮装行列の参加チーム数である。
高一是他の学年と違つて四クラス
のため、A・B・C三H・R対抗
は出来ないで、高一だけ、四H
・R対抗として、得点も別に計算す
る。もちろん、他の学年は例年通
り三H・R対抗である。この姿勢
体育祭は、あと三年続くのである。
仮装行列の参加は、原則として
高校各学年一チームになっ
た。これは高校の裏庭に新校舎が
建設中のため、準備をする場所が
ほとんどないためである。前者の
場合は、一学生三H・Rから四H
・Rへの移行の途中の段階では、
止むを得ないのである。その後
者の場合は、新校舎建設に伴い、
ある程度の制限を受けるのも仕方
がないのであるが、もっと他方、
解法策がある。また、茶道部に
ある茶会も、例年通り体育祭に新
アートルの祝日ミサがあるので、
二十二日は休み。これは、運動
会が日曜に行なわれたので、その
代休としてある。

文化祭の第一日は三十日。開会
式の後、最初に謡曲がある。曲目
は「羅生門」「紅葉狩」観客は賛
成して聞く(?)。

演劇、合唱コンクールは、後編
の文化祭プログラムに任せるとして、
さう異色はママさんコーラスが
である。これは四月の新入生歓迎
コンサートに初出演して、大へん
好評だったものである。とにかく
一同大に張り切って練習に励むも
のである。ただし曲目は当日の
お楽しみにして、ママさんコー
ラスの出演は、生徒職員、父兄三
者一体の文化祭という趣向からも
高く評価されてよい。

クラブ展示会は例年通り、文
化祭の三日間にわたり昼替みに

記念祭が近づいている。今年のそれは、洛星始まって以来の成功を納めるものとなるであろう、早くから言われている。そこで、スケジュールを見ながら、それが決まるまでの経過や準備の様子を書いて見よう。

洛星新聞編集局
京都市北区小松原南町
TEL(44)2334

局告

局 告

的に参加することを希望する。れによって、この才能が、高校だけのものにならないことを防ぐことができるので、もしもこの才能の容を、本当に皆が楽しめるものとなる方向に持っていこうが得ると思つ。この才能は、閉会式ファイアーの時に多く広げられる。二回ファイアーは各自で手

奮起せよ！

高校生徒会

だが、ジャズ四、五人が聞いただけではなくなつた、また有るとか言へてゐる校の行き方にも、いろいろ思ひがちがわいな点があるのが、主種に生徒会の不適発言を聽

高校生徒会

カラ回りの私学会議

衣笠

先日、エヌスコの募
金があり、生徒は案外
協力していた。このよ
うに、我々各星ボーイ
ズが社会への奉仕を忘
れない態度は立派なもの

今の中学生徒会は前回述べたように、生徒会として充分やっている。特に役員のハッスルぶりは充分賞讃に値するだつた。今までの生徒会には見られなかつたような発展ぶりで、いろんな事に手を貸したので、よく働きまわつてゐる。しかしそれは別にして、その内容を見ると、すい分無意味ではなからうかと思われるものが多かった。生徒会が一学期未かつ今までやつたことは、私学会議二回、加茂川、下鴨、洛星中合同アンケートの実施及びその集計、新会則制定議決、クラブ対抗野球大会など、その内容は雑多でしかもそのほとんどが新しく企画されたか又はこれまでのもので、その数において一応生徒会の酒発さをみせてある。しかしクラブ対抗の野球大会はクラブ間の親睦、クラブ内の団結を助けるとしてよいとして、より自主的、より民主的なものを作るんだと自負しているがまだ未知数の新規則制定を除外してみると、後の二つはどちらもうかなと思われる

まほら
の大き
た。こ
そあ
い。
笠
先日、ユネスコの募
金があり、生徒は案外
協力していた。このよ
うに、我々星ボイ
ズが社会への奉仕を怠
れない態度は立派なも
のだが、今一つ不安が残る。とい
うのは、我々には、金ですむもの
は協力するが、自分の身をもって
たとか、努力を要して初めてでき
るというような尊とい奉仕には全
くといっていい程協力しないもの
が多いのではないだろうか。▼アレ
ゼント漫遊する際に、金一封とい
うのは、自分の好みを心から考え
て与えられたものと比べて何と味
無いものだろう。我々が砂漠に
迷い、黄金と水のどちら二者择一を
強いられたら、どちらを取るだろ
うか。この際の水に黄金や何もの
にも交渉られない価値のあること
は万人の認めるところだ。▼一つ
この水に価するよかな社会奉仕を
してみようはどうださう。今、社会
では薄い血に対する対処として盛
んに献血運動などを展開し、各高校
生も協力しているところだ。熱
氣溢れる青年の血を社会に貢献する
ことは立派なことだ、美しいことだ
。そして誰もがやうやく思えてき
る感じだ。彼らは、やがて社会
に対し強い自信をもつて進いな
い。▼一つ星ボイズもこの自
信を目標に何かやってみたらどう
だろう。生徒会はやられてみたら
どうだろう。今、作れつつある
チャペルにしても、陶器をもって
いた生徒を、我々の周りにあま
り聞かない。このように消極性と
いう言葉で片づけられるはまよひ

奥田君棒高で優勝

の大き
た。こ
そであ
い。ま
らな
議は立
開か
内
容
意見は
無用な
校の会
職員もそ
駆かれ
的的なも
生徒会
の会
セントを
金一封とい
うのは、
自分の好みを
から考え
て与えられた
ものと比べて
何と味
気ないものだ
う。我々が砂漠に
迷い、黄金と水の二つ一
者择一を
強いられたら、どちらを取るだ
うか。この際の水に黄金や何もの
にも變らない価値のあること
は万人の認めるところだ。▼一つ
この水に価するよな社会奉仕を
してみはどうだ。今、社会
では薄い血に対する対策として盛
んに臍血運動などを行い、各高校
生も協力しているところだ。熱
氣溢れる青年の血を社会に貢献す
るのは立派なことだ、美しいことだ
。そして誰もがやるうと思えども
きめこじた、彼らは、やがて社会
に対し強い自信をもつに違ひな
い。▼一つ星ボーライズもこの自
信を目標に何かやってみたらう
だろ。生徒会はやじりしてみただ
うだけだ。今、作られたある
チャベルにしても、陶器をもって
いた生徒を、我々の周りにあま
り聞かない。このように過激性と
根性、これを洛星ボーライズは大き
く大氣で、その背後つけるよ。

スポーツの行い方・見方

物質的な利害は尊厳である。しかし、何とかこの壁を打ち破って欲しいものだ。

（評）夏休みに入つてから連日の練習の後、試合であったが、他の校も春のところによくして、社会的名声や物質的な利益を得ようか？ 我々は下町の公園で、子供達に臨んだのであるが、勝つたかった。しかし、三連覇を狙ったが、惜しくも二回戦敗退した。そこで、私は手を取つてボールの打ち方を教る。万負けたとしてもそれは

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ	タ	タ	タ	タ
久	タ	タ	タ	タ	タ
西	タ	タ	タ	タ	タ
加	タ	タ	タ	タ	タ
沼	タ	タ	タ	タ	タ
日	タ	タ	タ	タ	タ
下	部	下	部	下	部
部					

得点		1回戦		2回戦	
田	橋	間	下	田	藤
橋	タ	タ	タ	田	田
黒	二	津	久	西	加
二	タ	タ	タ	タ	タ
津	タ				

